

進路だより

発行：平成25年12月16日

1 第2回 分野別リレー講義について

12月6日(金)に第2回分野別リレー講義が実施されました。この行事は、Kobeプロジェクトのキャリア学習の一環として実施され、1~3年生にかけて行う、インターンシップ学習(KUトライやる)、3・4年生に実施する神戸大学 day からさらに発展したものです。対象は5・6年生で大学の先生方の講義を受講し、さらにじっくり協議することで、将来の進路希望について見つめ直し、より具体的なイメージを持てる機会となります。また、Kobeプロジェクトで取り組んでいる卒業研究をより学術的に高めるきっかけにもなります。

第2回として神戸大学大学院経済経営研究所の高槻泰郎先生に講師としてきていただき、黒船来航前夜の日本経済をテーマに、経済学と歴史学と情報学を融合したお話をしていただきました。特に江戸時代の情報伝達について、興味深い事例を出して紹介され、これまでの認識が大きく変わる内容でした。また、今回参加した14名の生徒も積極的に質問し、有意義な時間となりました。次回は神戸大学大学院システム情報学研究科の先生の予定です。

参加生徒の感想を掲載します。



① 今回の講義内容について、これまでの自分の意見と違っていた点、賛成できる点、今後の参考になった点。

江戸時代というと、インターネットや電話のない時代で、人々は狭い世界の中で暮らしているということが、これまでの考えでした。しかし、大阪・阪神間の旗振りでの情報伝達が約7分という驚異の数字から、当時の日本のネットワークの素晴らしさを知りました。物がなくてもアイデアがあれば、きちんとしたシステムができるのだということに感動しました。講義が終わった後に、部活動の部員に旗振りの話をしたら乗り気でした。学年で取り組みたいと思いました。

今回講義を聞いて、江戸時代の人への印象が大きく変わりました。私たちの社会はIT化が進んでいて情報社会といわれていますが、江戸時代も情報の伝え方は違うけれど、現在とそれほど変わらないということが分かりました。また、今では考えつかないような取引の方法を考えついたりして、とても素晴らしいということが分かりました。歴史と経済はとても関係が濃いということが分かったのもとても興味がわきました。

今まで、江戸時代にこんなにも“ビジネス”が行われていると思っていなかったのも、地方の人も積極的に商業に進出していたことには驚きでした。経済的に役立つ知識の習得という点では、現在の教育の在り方では少し足りない部分があるのではないかと疑問に思えました。

高槻先生がおっしゃっていた通り、これまで日本の江戸時代には日本人は何も知らなかったというようなことしか教わっていなかったのも、江戸時代の中に現在の株価と同じような考え方をしていたと知って、驚いたと同時に嬉しくなりました。また、一刻も早く知ろうとする執着心にも興味が深まりました。

私たちが今まで学んできたこととは違い、江戸時代の方々の知恵や知識をたくさん知ることができました。時代が変わって明治時代になったとき、日本人がほかの国に対抗できた秘密もここに隠されていたのだと知りました。私は日本史を選択しているので、これから授業を受けるとき、今回教わったことを参考にして行きたいと思いました。

江戸時代の人々に対する見方が変わりました。欧米の技術だけが、日本の高度経済成長を支えていたわけではないことが分かりました。

旗を振って、遠いところまで米価を伝える方法に驚きましたが、同時にやはり大阪の人は昔から発想が豊かだと思いました。禁止令が出たからといって諦めるわけではなく、走ったり、傘を用いたりするなど、ユニークで、今日にもこの性格が生きていると感じました。

古文書によって、過去の経済の姿を解き明かすという試みは、自分の古生物学に対する関心とリンクするものであり、非常に参考になりました。今後、研究活動などで行き詰ったら、今回の学びなどを原点に立ち返ろうと思います。

江戸時代の人が、こんなにも情報を知ることが重要視していたことに驚きました。旗振りの実験結果からすると、10分という時間以前に、本当にできたのかどうか疑わしいと思います。旗振りが短時間で可能にできる方法を、私たちが探るべきだと思います。今回分かったことは、教科書がすべてではないことです。私たちは数多くある資料の中から、真実を明らかにしていかなければいけないと思いました。

これまで、江戸時代の農民は田舎で質素に暮らし、米は年貢と食べるだけで消えていくと思っていましたが、全く違いました。江戸時代の農民の暮らしは、思っていたよりもぎやかで楽しそうでした。また、米は思いのほか、流通していたということが分かりました。とても衝撃的でした。

②講義をふまえた、今後の進路希望実現に向けての意気込み。

今回の講義を受講して、さらに経済学や経済史に興味を持つことができました。歴史が絡んだ経済学の魅力を感じました。

今まで、日本史や古文書には興味があったけれど、それと経済学は全くつながりのないものだと思っていました。今回、江戸時代の経済史を中心に講義していただき、経済に関して知ることができたのはもちろん、日本史なども江戸期のことを、商人や庶民の目線から考えることができ非常に興味深かったです。自分の進路の学問も「こういうものだ」と決めずに、いろいろ調べてみようと思います。

今回、経済学と江戸時代の旗振りの関連について聞きました。今まで、このような視点で経済学をみたこともなかったし、旗振りという技術も知らなかったので、大変興味がわきました。また、たくさんの古文書がまだまだたくさん残っているようなので、私もその読解技術を会得したいと思いました。そして、今回学んだような昔の人の優れた所をもっと知りたいと思いました。今日は本当に貴重な体験になりました。

“経済”というと、抽象的な計算をたくさんするというイメージがありましたが、今日の“経済史”はとてもおもしろくて、日本を創ってきた人たちは、すごい技術、頭脳を持っていたのだと“歴史”も感じさせる、とても興味深いものでした。私は歴史関係に興味があると改めて感じられました。ありがとうございました。

今回は本当におもしろい講義で時間があっという間でした。これまで知らなかった知識ばかりで、とても興味がわいたし、その研究に携わってみたいと思いました。経済に本当に興味があるのか分からなくなってきていたのですが、人文科学の分野とつながるとこれほどまでに興味深くなるのだと思いました。経済史という分野を学べる大学を探してみようと思います。

講義を受講して、今回の内容に関する研究に興味がわきました。私は一つのことをとことん突き詰めるということが好きなので、このような研究に取り組んでみたいと思いました。

お金の価値やその流動に興味があり、金融関係の仕事に就きたいと考えているので、経済学部に行きたいと思っています。しかし、経済史はあまり関心がなく、経営戦略には無関係だと思っていたのですが、昔は昔で、今なら原始的なやり方が、最先端だったのかと振り返ってみると、新しいインスピレーションで戦えるような気がしました。

様々な知識を得る機会となり、有意義な時間となりました。直接的には進路希望とかかわるかはまだわかりませんが、今回の講義で経済学に対する興味もわきました。

私は正直歴史には関心が持てないでいたのですが、1つのことを深く掘り下げることは、こんなにも面白いと気づくことができました。旗振りは是非やってみたいです。私は経済や経営に興味があり、今回講義を受講させていただいたのですが、それが、歴史や情報の流れにも関わっていたことに驚きでした。意外なつながりを見つけていくことも楽しそうだと感じました。様々な視点で、物事を見ていけるようになりたいと思います。今回の講義はとてもおもしろかったです。ありがとうございました。

高槻先生には、自分の偏った江戸時代への考え方を一新してくれたこと、旗振りという普段知れないことを教えていただいたことに感謝します。旗振りは、今後の自分の江戸時代への見方を大きく変えてくれました。これからは、物事の多彩な面を見ていきたいと思っています。